

令和2年度第1回山城地方学力向上対策会議を開催しました

令和2年度第1回山城地方学力向上対策会議を開催し、児童生徒の「質の高い学力」を育成する具体的な方策について交流・協議しました。



1 日 時 令和2年6月29日(月)午前10時から同11時30分まで

2 場 所 京都府田辺総合庁舎 講堂

3 出席者 山城地方学力向上対策会議員 24名

4 概 要

本会議の組織体制、年間計画、具体的な事業について検討・協議・確認しました

◇昨年度までの成果を踏まえつつ、『『やましろ授業スタンダード』等を活用し、『主体的・対話的で深い学び』の視点からの授業改善の推進』をテーマに、事業を計画・推進する。

◇会議を年間4回開催する。「質の高い学力」を育成するための具体的な方策について交流・協議し、その内容を **山城教育局ホームページ等を通じて発信**する。

◇『『主体的・対話的で深い学び』の視点からの授業づくり』をテーマに「**山城地方教育実践フォーラム**」を開催する。11月20日(金)に城陽市立深谷小学校・東城陽中学校を会場に公開授業及び全体会を行う。

◇「**山城地方学力向上を目指す教育実践交流会**」を令和3年2月8日(月)に開催する。実践事例集掲載校の実践発表及び「やましろ授業スタンダード」等を活用した授業(久御山町立小・中学校)をもとにした交流協議を行う。

◇管内の優れた実践の普及のため、各市町(広域連合)教育委員会から推薦された質の高い学力を育成する実践を掲載した「**学力向上を目指す実践事例集第29集**」を発行・配付する。

◇昨年度発行した「家庭学習を充実させる取組」推進のためのリーフレット(YKGGK!)を活用した実践や各学校の具体的な取組について交流を行い、「**家庭学習を充実させる取組**」を推進する。

本年度の事業については、新型コロナウイルス感染防止対策の中で進めることとなります。しかし児童生徒も教員も「学び続ける」必要があるため、**十分な対策を講じた上で事業を進めること、状況によっては変更や中止も検討することを確認**しました。

各市町(広域連合)教育委員会及び学校の状況や取組を交流しました(意見の一部)

休業期間中の状況について

- ◇休業期間中は、習得を目指す課題に加え、教科書に基づいた予習的な課題も課していた。家庭訪問、電話等にて学習状況、健康面の把握を行った。
- ◇分散登校で登校した児童生徒の様子を丁寧に把握した。
- ◇自主学习室を設置し、児童生徒に学習環境を提供した。
- ◇生活習慣の乱れを懸念して、睡眠ログの取組を行ったことが、大変効果的であった。

学校再開後の取組について

- ◇3密を避ける対策の徹底、校門前での検温、間隔を開けた座席、ドアを外して、風通しをよくする工夫、特別教室を含めたアルコール消毒、ビニルシート設置等の対策を講じている。
- ◇学校行事の重点化や内容の見直しを行っている。
- ◇GIGAスクール構想による、ICT環境の整備を進めている。
- ◇今年度中に指導内容を履修できるようカリキュラム・マネジメントを工夫している。
- ◇児童生徒の心のケアをSC、SSWと連携して行っている。
- ◇児童生徒のモチベーションを第一に考えて、丁寧なケアを心がけている。
- ◇学習支援員等の市独自の人的配置を有効に活用している。
- ◇授業のリカバリーを焦るあまり、丁寧さのない授業になることを懸念している。
- ◇状況を見て、徐々にペア学習やグループワークにも取り組んでいる。
- ◇部活動も本格的に始動している。

課題について

- ◇全国学力・学習状況調査、京都府学力診断テストの中止により、客観的な学力分析をどう進めるかが課題である。
- ◇今後暑くなる中で、児童生徒の疲れやストレスが蓄積することが予想される。心の不安定さをどうケアしていくかが課題である。
- ◇延期している学校行事、特に修学旅行をどう実施していくか(時期、規模、内容)が課題である。

学校支援の資料「『学校の新しい生活様式』を踏まえたやましろ授業スタンダード」
「『学びの保障』のための授業と家庭学習との効果的なつなぎ」について確認しました。(HP掲載)

